

# サブワーキンググループの開催について

令和2年6月19日  
令和元年台風第19号等を踏まえた高齢者等の避難に関する  
サブワーキンググループ  
(第1回)

内閣府政策統括官（防災担当）

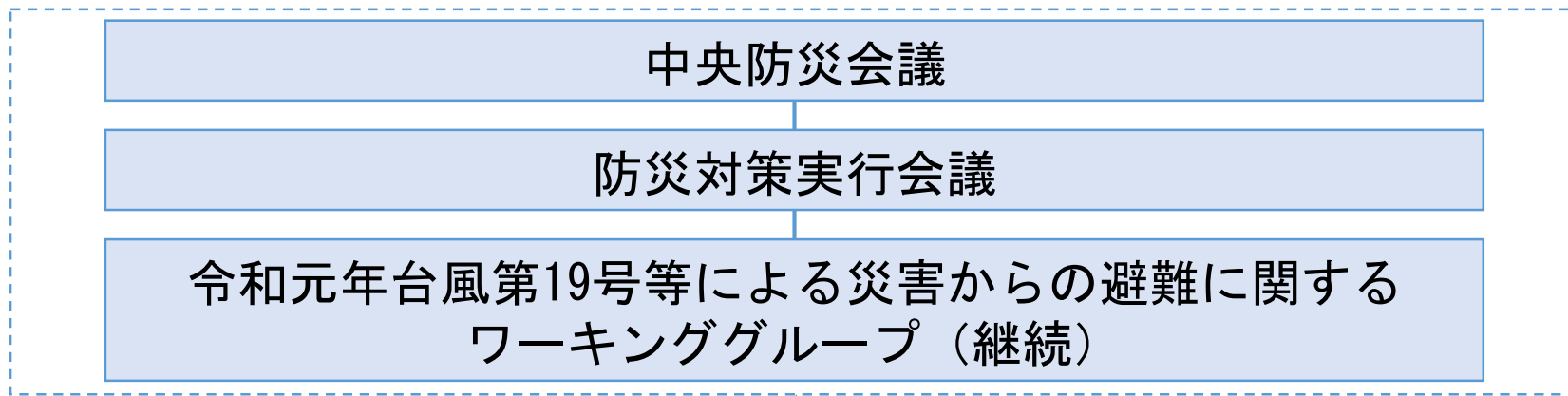
# 本サブワーキンググループ開催の経緯・目的

- 令和元年19号WGにおいて、令和2年度も引き続き検討を行うべき抜本的な対策が示された。( [ ] 内)
- これら避難情報、高齢者等の避難、広域避難について制度的検討も含め議論する場としてサブワーキンググループ（以下、SWG）を開催する。

	【避難行動関係(避難WG)】 課題	対応策
<b>災害リスクと とるべき行動 の理解促進</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハザードマップの認知、活用が不足               <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・洪水による死者のうち7割弱が浸水想定区域の範囲内で犠牲</li> <li>〔・住民ウェブアンケートでは、約半数が「ハザードマップ等を見たことがない」又は「見たことがあるが避難の参考にしていない」と回答</li> </ul> </li> <li>・警戒レベル4の「避難勧告」及び「避難指示(緊急)」の意味が正しく理解されていない               <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・住民ウェブアンケートでは、避難勧告及び避難指示(緊急)両方の意味を正しく理解していたのは17.7%</li> </ul> </li> <li>・「全員避難」や「命を守る最善の行動」の趣旨が住民に伝わっていない               <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・住民ウェブアンケートでは、約4割の人が「全員避難」を「災害の危険がないところにいる人も避難する必要がある」と回答</li> </ul> </li> <li>・豪雨時の外出リスクが認識されていない               <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・台風第19号の犠牲者のうち約6割が屋外で被災、うち半数以上が車での移動中。出退勤途中の人も含まれていた</li> </ul> </li> <li>・災害時に市町村のホームページにアクセスが集中、サーバーがダウンする事例</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難行動を促す普及啓発活動「避難の理解力向上キャンペーン」を全国で展開 <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">R2・出水期まで</span></li> </ul> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【実施内容】 市町村から、ハザードマップや避難行動の理解促進のためのチラシを各戸に配布・回覧</p> <p>(主なポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難とは「難」を「避」けること(安全を確保すること) ・安全な親戚・知人宅も「避難先」</li> <li>・警戒レベル4は「危険な場所から全員避難」               <ul style="list-style-type: none"> <li>― 避難勧告は、避難に必要な時間を考慮して発令されるもの 避難勧告のタイミングで避難</li> <li>― 避難指示(緊急)は、緊急的又は重ねて避難を促す場合に発令されるもの (必ず発令されるものではない)</li> </ul> </li> <li>・警戒レベル5は既に災害が発生、無理な屋外避難は控える</li> </ul> <p>水害・土砂災害リスクのある地域の小・中学校で、災害リスクや避難行動判定フローを確認 病院・福祉施設の施設管理者が所在地の災害リスクを確認 等</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「全員避難」や「命を守る最善の行動」について、災害時に補足的な説明を加えながら呼びかけ               <ul style="list-style-type: none"> <li>〔例:「全員避難」との表現を用いる際は、「危険な場所から全員避難」等と適宜補足して <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">R2・出水期まで</span></li> <li>〔マスクや防災行政無線から発信 等</li> </ul> </li> </ul> <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・避難勧告・避難指示(緊急)について自治体の意見を踏まえた制度上の整理 <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">R2年内</span></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社員等が不要不急の外出を控えることができるよう、テレワーク、時差出勤、計画的休業等の措置について、経済3団体へ協力要請 <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">R2・出水期まで</span></li> <li>・災害時におけるホームページへのアクセス集中対策(webサイトの軽量化等)の実施促進 <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">R2・出水期まで</span></li> </ul>
<b>高齢者等の 避難の 実効性確保</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者や障害者等の避難に課題               <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・台風第19号における死者(84名)のうち65%が65歳以上の高齢者</li> <li>〔・自宅での死者(34名)のうち79%が高齢者</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村において、避難行動要支援者名簿とハザードマップ等を活用し、災害リスクが高い区域に住む避難行動要支援者を洗い出し、防災・危機管理部局と医療・保健・福祉部局等の間で共有 <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">R2・出水期まで</span></li> <li>・福祉関係者等が高齢者・障害者宅訪問時、災害リスク等を本人と確認 (避難の理解力向上キャンペーン)</li> </ul> <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・高齢者等の避難の実効性確保に向けた、更なる促進方策について検討 <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">R2年内</span></p> </div>
<b>大規模 広域避難の 実効性確保</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模広域避難を行う場合の課題が顕在化               <ul style="list-style-type: none"> <li>〔・荒川下流域(江東5区)では、広域避難が初めて現実問題に</li> <li>〔・避難時間や避難先の確保が難しい等の課題が明らかに</li> <li>〔・利根川中流域においては、深夜に広域避難を実施</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域避難に当たっての留意点について市町村に周知 <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">R2・出水期まで</span></li> </ul> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〔暴風雨時の避難回避や計画運休等を見込んだ早めの避難等の調整・発令タイミングの必要性 等</p> </div> <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・災害発生前に大規模広域避難を円滑に行うための仕組みの制度化の検討 <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">R2年内</span></p> </div>

# 令和2年度の検討体制について

- 以下の2つのSWGを開催。今後それぞれのSWGを3～4回開催予定。
- 令和2年夏に19号WGに検討内容を報告する（詳細は資料5「今後のスケジュール」）。



令和元年台風第19号等を踏まえた避難情報及び広域避難等に関するサブワーキンググループ

- ・ 学識（中防避難WGの委員を中心に構成）
- ・ 首長（全国市長会、全国町村会から推薦）

（主な論点：避難勧告・指示関係）

- ① 避難勧告・指示のあり方の検討
- ② 避難行動としての屋内安全確保の位置づけの検討
- ③ 高齢者等避難開始の位置づけの検討

（主な論点：広域避難関係）

- ① 国の本部体制の整備の検討
- ② 広域避難の協議・避難先の確保の検討
- ③ 広域避難時の避難住民の輸送の確保の検討
- ④ 広域避難に係る費用負担の整理・検討

## 本SWG

令和元年台風第19号等を踏まえた高齢者等の避難に関するサブワーキンググループ

- ・ 学識（中防避難WGの委員を中心に構成）
- ・ 首長（全国市長会、全国町村会から推薦）
- ・ 障害者関係団体
- ・ 福祉関係団体

（主な論点：高齢者等避難関係）

- ① 避難行動要支援者名簿に関する検討
- ② 個別計画に関する検討
- ③ 福祉避難所等に関する検討
- ④ 地区防災計画に関する検討

報告

# 令和元年台風第19号等を踏まえた高齢者等の避難に関する サブワーキンググループ委員

委員	所属
◎鍵屋 一	跡見学園女子大学観光コミュニケーションデザイン学科教授
阿部 一彦	日本障害フォーラム代表
阿部 英一	全国社会福祉協議会 政策委員会委員
飯島 淳子	東北大学大学院去学研究所教授
石川 広己	公益社団法人日本医師会常任理事
片田 敏孝	東京大学大学院情報学環特任教授
阪本 真由美	兵庫県立大学大学院成災復興政策研究科教授
清水 聖士	鎌ヶ谷市長
立木 茂雄	同志社大学社会学部教授
田中 淳	東京大学大学院情報学環 特任教授
田村 圭子	新潟大学危機管理本部危機管理室教授
保科 郷雄	丸森町長
木野 淳子	別府市共創戦略室防災危機管理課防災推進専門員
山崎 栄一	関西大学社会安全学部教授

行政委員
内閣官房副長官補（事態対処・危機管理担当）付内閣参事官
内閣官房国土強靱化推進室参事官
消防庁国民保護・防災部防災課長
文部科学省総合教育政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課安全教育推進室長
厚生労働省大臣官房 厚生科学課 健康危機管理・災害対策室長
厚生労働省医政局地域医療計画課在宅医療推進室長
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課地域生活支援推進室長
厚生労働省老健局振興課長
国土交通省水管理・国土保全局河川環境課長
国土交通省水管理・国土保全局防災課長
国土交通省水管理・国土保全局砂防部砂防計画課長
国土交通省国土地理院応用地理部長
気象庁総務部参事官（気象・地震火山防災）

◎：座長